



## 特集

# 「みんなとヤレコノ」でみんなと祭に新しい風を

7月に入り日に日に浮き足だつ港まち。今年も間もなく「みんなと祭」がやつてきます。今年は新しい踊り「みんなとヤレコノ」が登場。

今回の祭はいつも以上に盛り上がりそう。プロデュースをした日本舞踊家・西川千雅さんに、曲に込めた思いと踊りを楽しむ極意をうかがいました。文／谷 亜由子

新しいまちの文化と歴史の象徴に。  
ヤレコノのリズムに乗って  
人と人がつながっていく。

港まちで毎年7月に開かれる「名古屋みなと祭」。始まりは昭和21年。70年近い歴史を誇る、港を代表するお祭です。メインの花火大会は、今や地元の人のみならずたくさんの市民たちが楽しみにしている名古屋の夏の風物詩。およそ40万人が詰めかけ、毎年押すな押すなりにぎわい。でも祭の見どころは花火だけではありません。地元・西築地学区では、前日から盆踊りの踊り子さんや屋形が通りを練り歩き、まちじゅ

に仕上りました。作曲・振り付けをプロデュースしたのは西川流家元の長男で、日本舞踊をベースに体操や演劇など

に合わせた決めのボーズがまたまた斬新! 太鼓や三味線などの楽器が奏でる軽快なりズムに乗つて、誰もが思わず踊り出したくなる楽しい曲

に仕上りました。

うが熱気に包まれます。そして祭当日、流し踊りや総踊りでその盛り上がりは最高潮に。そんなみなと祭の盆踊りに待望の新曲が完成しました。その名も「みんなとヤレコノ」。歌詞の中に出てくる「ごあんぜん」というかけ声は、港で働く荷役さんたちの間で交わされる独特のあいさつ。青山千果さんによるパンチの効いたボーカルと強烈なフレーズは一度聞いたら忘れられません。さらにこれ

開する西川千雅さん。西川さんと港まちとの出会いは3年ほど前のこと。地元の人を対象に、日本舞踊をもとにしたフィットネス「NOSS(ノス)」の指導を行ったのがきっかけでした。港まち新曲づくりに取り組みました。そうして誕生した「みんなとヤレコノ」。港区で西築地学区に非常に強固な盆踊り「ミニユニティが

長年踊り継がれてきた区の曲「みんな

と、このまま

が楽しめます。自然に人と人

がつながる。つまり、盆踊りは

され続けているのだと。踊りの輪に加われば、老いも若きも関係なくみんなが楽しさを共有でき、自然に人と人

がつながります。そこで、盆踊りは

各地で一大盆踊りブームが巻き起こり、その頃に作られたご当地踊りがそれぞの地域に根付き、今日まで長く愛され続けているのだと。踊りの輪に加われば、老いも若きも関係なくみんなが楽しめます。自然に人と人

がつながります。つまり、盆踊りは

され続けているのだと。踊りの輪に

加われば、老いも若きも関係なくみんなが楽しめます。自然に人と人

がつながります。つまり、盆踊りは

され続けているのだと。踊りの輪に

加われば、老いも若きも関係なくみんなが楽しめます。自然に人と人

がつながります。つまり、盆踊りは

され続けているのだと。踊りの輪に

加われば、老いも若きも関係なくみんなが楽しめます。自然に人と人

あることを知りました。その一方で、「そろそろ何か新しい風を吹かせたい」「祭を通じ地域によりよい変化を生みだしたい」という地元の人たちの切なる思いを知ること

を生みだしたい」という地元の人たちの切なる思いを知ること



区音頭以来、実に数十年ぶりに港まちのための新曲が生まれました。

西川さんによれば、昭和30年代を中心におこなわれた一大盆踊りブームが巻き起こり、その頃に作られたご当地踊りがそれぞの地域に根付き、今日まで長く愛され続けているのだと。踊りの輪に加われば、老いも若きも関係なくみんなが楽しめます。自然に人と人がつながります。つまり、盆踊りは

され続けているのだと。踊りの輪に加われば、老いも若きも関係なくみんなが楽しめます。自然に人と人がつながります。つまり、盆踊りは

\* 青山さん：青山千果「みんなとヤレコノ」のボーカル担当

## 踊ってみよう！みんなで「みんなとヤレコノ」

みんなで新曲「みんなとヤレコノ」。誰でもすぐに覚えて楽しめるように、歌詞も振り付けもいたってシンプルで親しみやすいのが特長です。踊るもよし、歌うもよし、思い思いの鳴り物で景気よく囁くもよし。みんな祭のパレードや総踊りにも参加して、みんな祭を盛り上げよう！

**PROFILE / 西川 千雅 (にしかわ かずまさ)** 日本舞踊家。160年以上続く全国的な流派、西川流家元の長男。伝統的な日本舞踊だけでなく、演劇を加えた「新作舞踊劇」を毎年発表し、全国的に知られています。名古屋に60年以上続く「名古屋をどり」(中日劇場)にて毎年主演。舞踊のほかドラマ、ラジオ、ミュージカル、歌舞伎にも出演多数。



新曲「みんなとヤレコノ」の印象は？  
田島 歌つてみえる。青山さんの声が素敵に響き渡っていい曲ね。  
河村 私もやっぱりノリがいいなというのを感じました。  
高羽 テンポが速くなったりゆっくりになったりするもんだからついていくのがちょっと心配…。  
田島 そうね。若干しんどいかな。(笑) 流し踊りつちゅうのはね、踊りながらどこ進んでいくか、なかなか難しいね。速すぎると進み過ぎちゃう…。  
高羽 でも、西川流の先生に歌や踊りを作っていただけ、これがなかなか難しいです。速すぎると進み過ぎちゃう…。  
河村 これから何年も踊つていくうちに男踊りができるけど、これがなかなか難しいです。速すぎると進み過ぎちゃう…。  
田島 あんまりゆっくりだとまた具合が悪い(笑)。でも、西川流の先生に歌や踊りを作っていただけ、これがなかなか難しいです。速すぎると進み過ぎちゃう…。  
高羽 若い世代に残していくものがひとつできました。築地の踊りや文化の伝承になればいいね。

\* 青山さん：青山千果「みんなとヤレコノ」のボーカル担当



# 第66回 名古屋 みなと祭

「みんなとヤレコノ」を踊りに、ぶらり港まちへ♪

Nagoya Port Festival 2012

**「みんなとヤレコノ」宵祭**

7月20日 金曜日

みんなと祭前日から盛り上がる港まち。各町内が屋形をひき、太鼓を鳴らして踊りながら、港まちをぐるぐると巡っています。朝からのぎわいが夕暮れどきに最高潮に。祭当日の華やかさとはまた違ったどこか懐かしいような気持ちにもなる、人と人が織りなす港まちならではの風景が広がります。そんな港まちで新たな試みとなる「宵祭」を開催します！西川千雅さん、たなかつとむさん、青山千果さんなどヤレコノゆかりの方々に加え、グレート家康公葵武将隊も応援に駆けつけます。どなたでも参加は自由！みんなで「みんなとヤレコノ」を踊りましょう！

**江川線でのパレード**

7月21日 土曜日

みんなと祭のクライマックス。花火の下で輪になつて踊ります。総踊り曲にも「みんなとヤレコノ」が登場。踊り子さんたちの輪に加わって飛び入り参加もOK！みんなで楽しく踊りましょう。

**総踊り**

7月21日 土曜日

みんなと祭のクライマックス。花火の下で輪になつて踊ります。総踊り曲にも「みんなとヤレコノ」が登場。踊り子さんたちの輪に加わって飛び入り参加もOK！みんなで楽しく踊りましょう。

**「みんなとヤレコノ」の動画をホームページで確認できます！<http://yarekono.com/>**

参加できます！

時間：19時～20時50分

場所：港橋広場公園

※先着300名様に、ヤレコノうちわを差し上げます。

※服装は自由です。

※花火：19時30分～20時20分

地下鉄名港線 築地口駅

地下鉄名港線 名古屋港駅

名古屋港 水族館

名古屋港 ポートビル

※みなと祭にお越しの際は、混雑が予想されますので公共交通機関をご利用ください。  
※地下鉄の駅は、名港線「名古屋港駅」か「築地口駅」をご利用ください。



新しい風、「みんなとヤレコノ」待ちに待った今年のみなと祭の新曲、「みんなとヤレコノ」の練習会が開催されました。練習が深まるにつれて、気付くと「みんなと～みんなと～は～」と口ずさんでいる自分がいます。この曲には踊り出さずにはいられない不思議な力を感じます。みなと祭これまで踊り継がれてきた曲と違つてアップテンポ、振り付けも独特。だけど初めての踊りの練習で、参加者のみなさん顔には戸惑う表情と同時に楽しそうな笑顔がたくさん見られました。今回の練習会では、参加者数が多くたため、半分ずつのグループに分けて練習を行いましたが、さすが踊り達な地域のみなさん、自分のグループの番ではないときも真剣な眼差しで振りを見て体を動かし、踊り続けていました。

女も男も、老いも若きも同じ振りの繰り返し、歌の調子も同じように続いていきます。テンポが早いからだんだん息があがつてくる…、それでも踊り

そして、この曲の見せ場はなんといっても「こあんぜんに～」の決めのボーズ。150人を超えるみなさんでこのボーズが決まるとき、「みんなと祭」の決めのボーズ。150人を超えるみなさんでこのボーズが決まるとき、「みなとヤレコノ」はみんなと祭当日に行われる「流し踊り」や「総踊り」(詳細は次ページ参照)で踊られる予定です。港まちの大好きな空の下、揃いの浴衣に包まれた大勢の踊り子たちが軽快に踊る姿が、沿道で見ている人々を巻き込んで、楽しい踊りの輪が広がっていくといいなと思っています。





# 歌声ひびく夏の夜の港まち〜♪

港まちを歩くたび、ずっと気になっていたこと。まだ陽が高いのにあちこちから聞こえてくる気持ちよさげな歌声。時計を見れば午後3時。

こんな時間からカラオケ?どうやら港まちのみなさん、歌がとってもお好きなよう。今回は、初めてでも安心、楽しく歌つておいしく飲めるお店に潜入。

文／谷 亜由子



入口から漏れる歌声と楽しげな笑い声。扉の向こうにはきっとお店の数だけ出会いや物語があるに違いない。中を覗いてみたい。まちの人たちと仲良くなつて一緒に楽しく歌いたい。でも、馴染みがないとなかなか入りづらい。しばらくの葛藤の末、ついに思い切って一軒のお店に入つてみることに。「いらっしゃい。どうぞ」初めて訪れる私たちを快く迎え入れてくれたのは、笑顔が素敵なママさん。ここは築地口にある居酒屋「お津」。まだ日暮れ前だというのにカウンターはすでに満席に近い状態です。にも関わらず、居合わせたお客様たちがすかさず椅子の間に隙間を作り「ここ座りやええ」と仲間に入れてくれました。なんてフレンドリー!緊張もほぐれすっかり気をよくした我々一行は、気がつけば常連さんたちと一緒にジョッキとマイクを手に飲めや歌えの大騒ぎ。夜の更けるのも忘れ、とっても楽しいひとときを過ごしたのでした。

築地エリアだけでもおよそ15軒あるという歌えるお店。まちの広さに比べその数の多さにびっくりです。しかもどのお店もなかなかの繁盛ぶり。歌声ひびく夏の夜の港まち。扉の向こうに広がるディープな世界へご案内。

## 料理も歌も笑顔も絶品! 新米ママは港まちの人気者



**筑前煮／400円**  
家庭料理にひと工夫加えるのがママのこだわり。例えば味付け。好みに合わせ細やかに応えてくれる優しい気遣いが嬉しい。

## [港まち 歌えるお店マップ]



●=誌面で紹介しているお店 ●=そのほかの歌えるお店



**女性ファンの支持率高し。  
陽気なママに会いに来て。**



**ピザ Mサイズ／800円**  
お店を開く前は、給食の会社に勤めていたというだけあって料理の腕前には定評が。その日のオススメは黒板メニューをご参考に。

底抜けに明るいママが切り盛りする小さな居酒屋。さあやという店名は初めてのお孫さんの名前。「看板のデザインもお友達が考へてくれたの」。そんなアットホームな雰囲気のせいか、港まちでは珍しく女性客が多いのも特長で、一人でも安心して遊びに来られる親しみやすさが魅力。カラオケの得点によって受けられるサービスも女性のみ。するといつか「男に優しくない店」なんて呼ばれるように。「そんなことないから男の人もどんどんきてね~」とママ。

### さあや

住所／名古屋市名港1丁目17-15 TEL／052-651-0885  
営業時間／17:00～23:00 定休日／日曜日

**歌自慢たちが夜な夜な集う  
港まちの穴場。**



**とうふステーキ／1,200円**  
大きな鉄板にのって登場したとうふステーキは、3人でも大満足のボリューム。山芋をたっぷり使ったふわふわの食感がたまらない。

「うちのカラオケは点数が辛いので有名なの」と、いきなりの先制パンチ。それじゃみんな戻みしちゃうのでは?「港には歌自慢がいっぱい。ここで練習して腕上げるのよ」。なるほど~。するとママさんも自らお得意の一曲「りんご追分」を披露。さすが、なかなかの美声です。地元の人はもちろん、他所のまちからのお客さんも大歓迎。旅と温泉が大好きなママは温泉巡りで47都道府県を全て制覇。「どのまち出身の人とでも話が弾むのよ!」

### 居ザック ぽーと

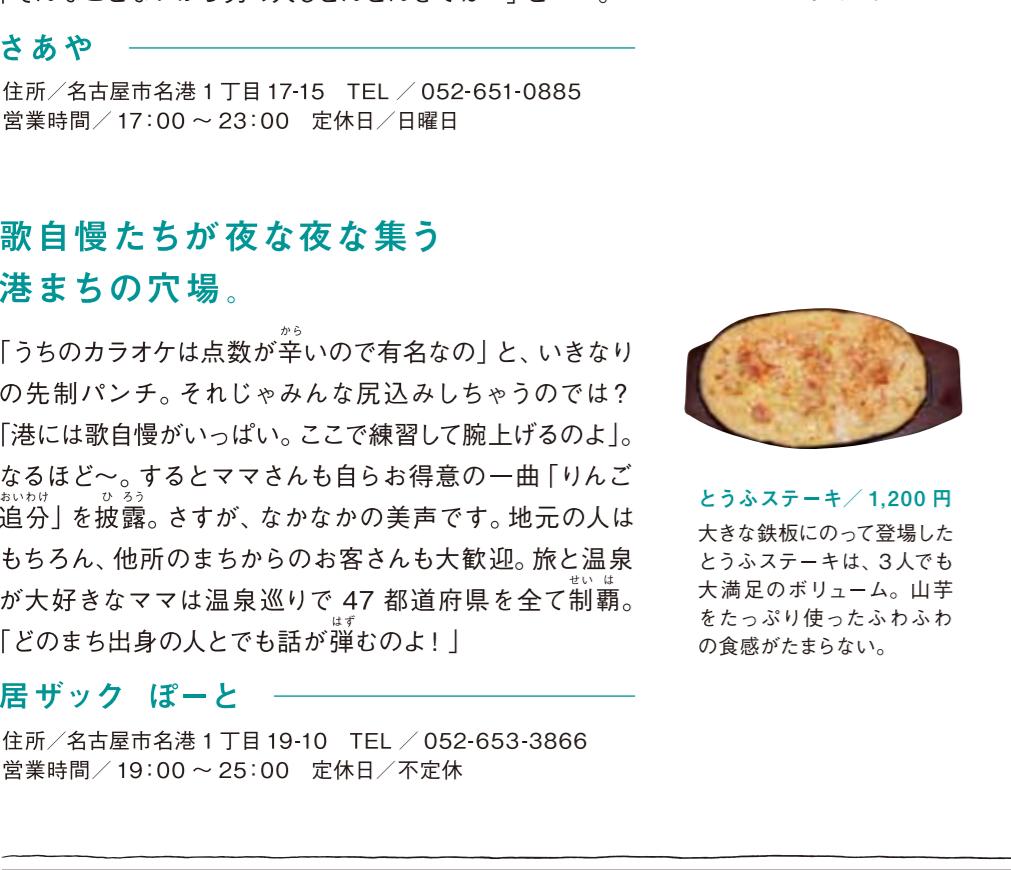
住所／名古屋市名港1丁目19-10 TEL／052-653-3866  
営業時間／19:00～25:00 定休日／不定休



**そこはまるで別世界。  
歌声と赤いネオンに酔いしれて。**



**冷やし中華そば／500円**  
冷やし中華は専門店顔負けの本格派。メニューになくても材料があれば何でも作ってくれる。焼きそばやスパゲティは名古屋流の鉄板で。



**港まちで24年。  
我が家のような温かさ。**



**日曜お昼の特別メニュー／500円**  
ゆで玉にサラダ、茶碗蒸し、パン、デザートなどワンプレートに盛りだくさん。さらに紅茶までついてこの値段。限定なのでお早めに。

日曜日のお昼12時からのカラオケタイムが大評判。「とにかく歌を楽しんでもらいたい。雨の日や猛暑の日はカラオケチケットを1枚オマケしちゃう」と、サービス精神も旺盛。「転勤で港を離れた常連さんが数年ぶりに、ただいま、と戻って来てくれたりするのが嬉しくて」と、港まちで長く愛されてきたお店ならではのエピソードも。デュエットのリクエストには自慢の娘さんが登場。毎週火曜日には、孫のゆりかちゃんもお店に立つ。三人並ぶとまるで美人三姉妹みたい?



**あじさい**

住所／名古屋市名港1丁目11-19 TEL／052-653-5977  
営業時間／17:00～23:00 定休日／木曜日  
※日曜カラオケタイム＝12:00～17:00 その後 22:00まで通常営業

今号のテーマは「歌って踊る港まち」。みなと祭に向けて盛り上がるまちに飛び出して、好きな歌、得意な歌をうかがいました。歌は人前で歌うのは恥ずかしい…とはにかむ人から、週に何度もカラオケに通うという強者まで。それぞれにとつておきの一曲を教えてください！

今号のテーマは「歌って踊る港まち」。みなと祭に向けて盛り上がるまちに飛び出して、好きな歌、得意な歌をうかがいました。歌は好きだけど人前で歌うのは恥ずかしい…とはにかむ人から、週に何度もカラオケに通うという強者まで。それぞれにとつておきの一曲を教えてくれました。



1. 名前
2. 職業
3. ここに来た目的は？
4. オハコの歌は？

ヒト×ヒト

「坂本屋」

いながきご ろう  
稲垣五郎さん（お客さん）／今池在住。ポートピア名古屋ができるのを機に港に通い始める。書、日本舞踊、歌と多趣味で、のど自慢大会も数回の出場歴を持つ。十八番は橋幸夫の「潮来笠」。  
たかいがつひろ  
高井勝広さん（坂本屋）／叔父さんが始めたうどん店に15歳で修行に入り、以来53年間、毎日うどんを打ち続ける。奥さんと2人、今ではすっかり市場の顔。

# 五郎さんが通う市場の名物店

築地公設市場の人気店・坂本屋。男前のご主人が毎日打つうどんのほか、そば、きしめん、中華そば、どれをとっても安くおいしいのです。  
地下鉄に乗ってこの店にやってくるのが何よりの楽しみという常連の五郎さんは、カウンターでくつろぎながら今日もご機嫌です。

【写真撮影のために笑顔を見せながら】

ご主人 五郎さん、役者だね。

五郎さん いやいや、眞面目だもんだけでカメラなんか向けられるとがんばっちゃうんだわ、はつはつは・・・

\*仲良ですね。

ご主人 そうだね。まあ、5~6年のつきあいかね。よう来てくれるもんね。

五郎さん なんと言つてもご主人の人柄ひとがらが大好き。朗らかで話しやすいところがね。奥さんもいい人。明るくて

ご主人 五郎さんがほんとに気さくで話しやすい人だから。

\*お店に通い始めたきっかけは?

五郎さん おかちゃんに教えてもらつて一緒に来たのが最初だね。え? おかちゃんかね? おかちゃんは私のともだち。わし、ここにこんなええ店あるなんて知らんかったでね。

\*お住まいはどちら?

五郎さん うちは今池。港からはちょっと離れとるけどここは地下鉄降りてすぐだがね。便利がええでしょ? ほんたでつい週に何回も通いたくなるの。

ご主人 ボートピアへ来るついでに寄ってくれるんですけど五郎さん そうだけど舟券ふなけんなんていつも200円しか買わんよ。あとはここへ来てしゃべつてばっかり。

ご主人 この人はどんどんつき込むような遊び方はせんでもええんだわ。ほどほどに楽しんどるで。

五郎さん ほんでも、たまーに当たつちゃうと調子出ちやつてそのまま継続けいぞくしてやつちやうでしょ? ここへも来るヒマが無くなることもあるで困るんだわ。

(爆笑)

2人

\*お店が長く愛される秘密は?

ご主人 昔に比べたら売れ行きは少しずつ減つてはきとるけどね。商売しとるといろんな人と話ができるのが楽しくてね。商売やめてうちにおつたつて退屈たいくつにもならんし。体が動くうちはやろうと思つとるんですわ。うちはおかげさまでいいお客さんばかりだ

「写真撮影のために笑顔を見せながら」  
ご主人 五郎さん、役者だね。

